



IXIL テラスドア・勝手口ドア・採風勝手口ドア 取付け説明書

●この説明書は、必ず取付けされる方にお渡しください。

※内はロットNo.表示位置を示します。 ※枠のロットNo.はブランドラベルに表示しています。

■取付けされる方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

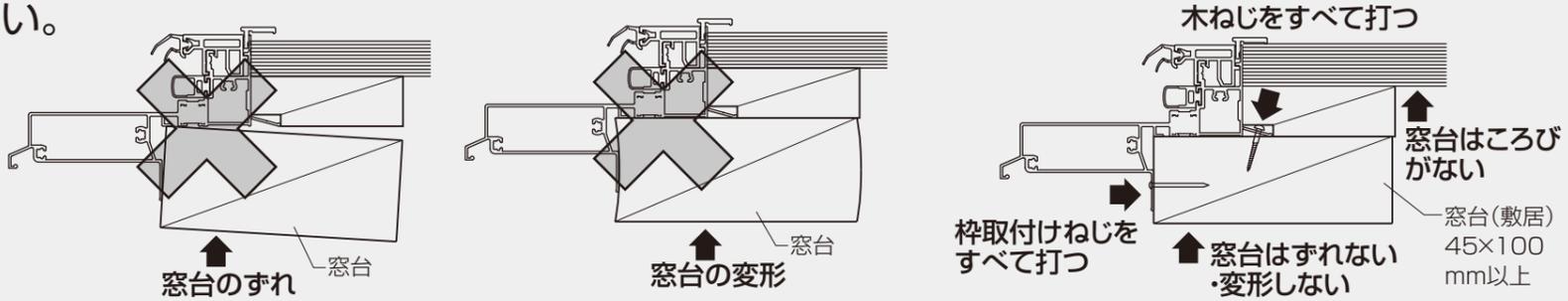
▲注意 …取付けを誤った場合、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険または物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

▲注意

●本体吊込みの際は相応の人数で行ってください。誤って本体を落下させた場合、思わぬケガをするおそれがあります。(組立て後の本体重量は最大55Kgになります。)

●風のおりなどによるドア本体の落下・枠や外壁材の損傷・漏水・ドアの開閉不良、サッシ下枠の垂れ下がりによる気密・水密・断熱性能の低下の原因になるおそれがありますので、下記事項をお守りください。

・必ず45×100mm以上の窓台(敷居)・30mm厚以上の間柱(ピッチ500mm以下)で開口部を作ってください。



・テラスドアはフリクションアームを必ず取付けてください。取付けないで開閉すると、枠と本体が干渉し損傷することがあります。

・勝手口ドアはドアクローザーを必ず取付けてください。取付けないで開閉すると、枠と本体が干渉し損傷することがあります。

●漏水防止のため、下記事項をお守りください。

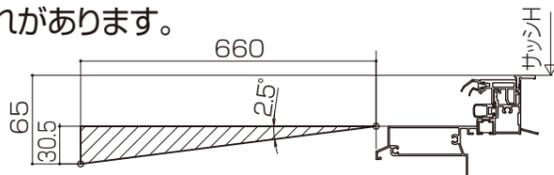
・本製品取付け後、枠と躯体の取合せ部に防水テープ(別売り)を張ってください。防水テープと枠との納まりについては、防水テープ取扱い説明書を参照してください。

・枠の水平・垂直を正確に出して取付けてください。

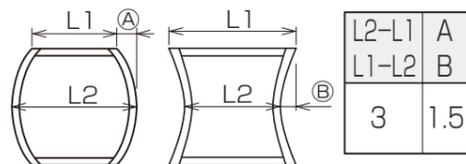
・浴室にご使用の場合は、必ず浴室防水部品セット(別売り)をご使用ください。

■取付け上のお願い

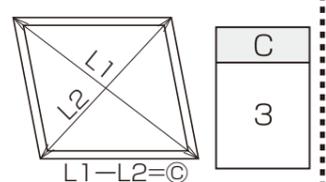
- 必ず指定の取付けねじを使用してください。
- 上枠のハリ・タレは3mm以内に抑えてください。
- 縦枠は必ず垂直に取付けてください。
- 本体は枠を躯体に固定した後、吊込んでください。
- 本体の吊込み後、必ずチリ合わせブロックを外してください。
- 反り防止のため、樹脂面を直射日光に当てた状態で放置しないでください。
- 樹脂は割れたりキズついたりしやすいため、ぶついたりこすったりしないでください。
- 枠取付けねじの取付けには、インパクトドライバーは使用しないでください。電動ドライバーを使用の際は、締付トルク1.5~2.0N・m{15~20kgf・cm}にて取付けを行ってください。
- 節などの硬い部分や、硬い木(ヒノキ・米松など)の場合は、φ2.5mm以下のドリルで下穴をあけてから、取付けを行ってください。
- ねじは2.5±0.5N・m{25±5kgf・cm}のトルクで止めた後、ゆるみ・がたつきのないことを確認してください。
- 下枠のピボットヒンジの取付けねじは3.0±0.5N・m{30±5kgf・cm}のトルクで対角順に締め付けてください。
- 樹脂材に荷重がかからないよう、保管・輸送の際は保護してください。
- 躯体に固定する際に、サッシ枠が右図の寸法以下になっているか確認して取付けてください。
- 室外側の仕上げが の範囲に入らないようにしてください。ドア本体が吊り込めないおそれがあります。



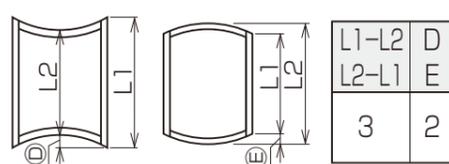
■サッシ枠のフレツツミ



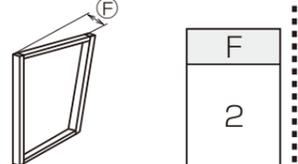
■サッシ枠対角差



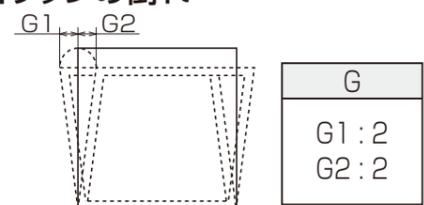
■サッシ上下枠の内ソリ・外ソリ



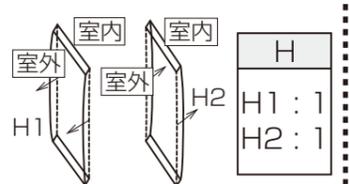
■サッシ枠のねじれ



■サッシの倒れ



■サッシ枠の室内外のソリ



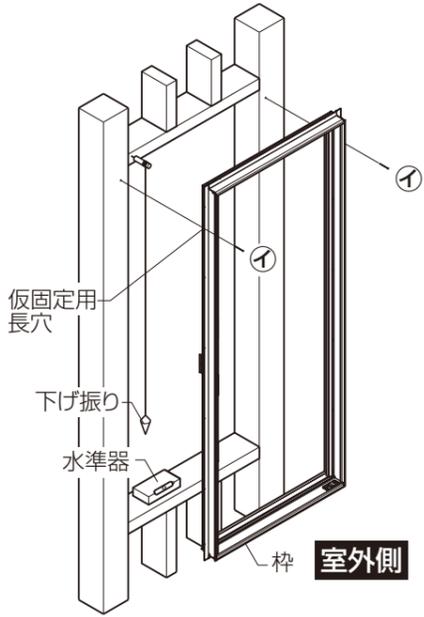
■取付けねじ一覧表

記号	㊦~㊨	㊩	㊪	㊫	㊬	㊭	㊮
姿図							
	枠取付けねじφ3.1×25 (低頭ねじ)	枠取付けねじφ3.5×25 (丸木ねじ)	ピボットヒンジ取付け金具	取付けねじM4×8 (トラス小ねじ)	躯体取付けねじφ3.8×50 (丸木ねじ)	取付け穴ふさぎ (プッシュボタン)	段窓無目取付けねじφ4×45 (平ドリルねじ) ※段窓時に使用します。

■ 取付け順序

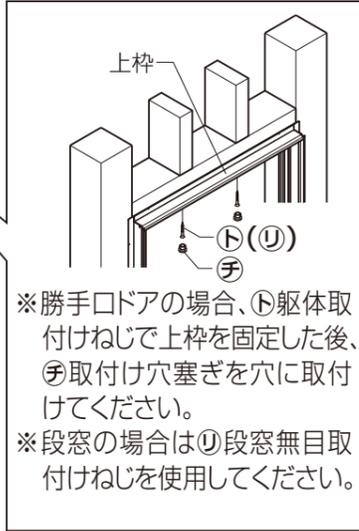
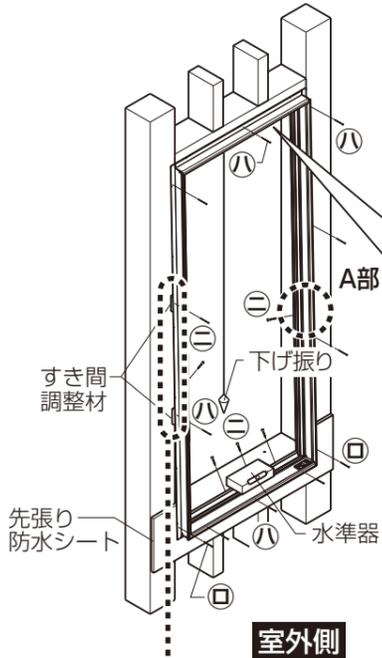
1 枠の仮止め

- 開口部の水平・垂直を確認し、縦枠上部の仮固定用長穴に①枠取付けねじで枠を仮止めします。



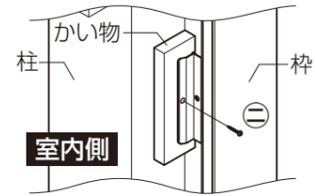
2 枠の調整と固定

- 下げ振り・水準器で枠のねじれ・たおれ・ゆがみを直した後、縦枠下部ねじ②を固定します。枠の対角差を調整後、その他のねじ③を固定します。
- ※ 縦枠は、必ず垂直に取付けてください。(開閉障害・すき間が生じるおそれがあります。)
- ※ 枠取付けねじを固定する際は、柱と縦枠および上下枠アルミフィンのすき間に必ず適切な厚さの調整材を入れてください。
- 縦枠および上下枠が外側にこぼり、開閉不良など不具合が発生することがあります。



※ 勝手口ドアの場合、①躯体取付けねじで上枠を固定した後、②取付け穴塞ぎを穴に取付けてください。
 ※ 段窓の場合は④段窓無目取付けねじを使用してください。

■ A部詳細図



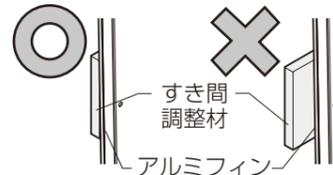
※ 枠と縦枠のすき間には、必ず適切な厚さの木片などのかい物を入れ、かい物部に木ねじで適切なトルクにて締付けてください。枠がこぼり、樹脂のはずれや開閉不良など不具合が発生することがあります。

お願い

※ 枠の取付けの際には冒頭の取付け上のお願いに記載されている許容範囲内で取付けされているか確認の上、取付け調整を行ってください。許容範囲を超えると開閉不良など不具合が生じる原因となります。

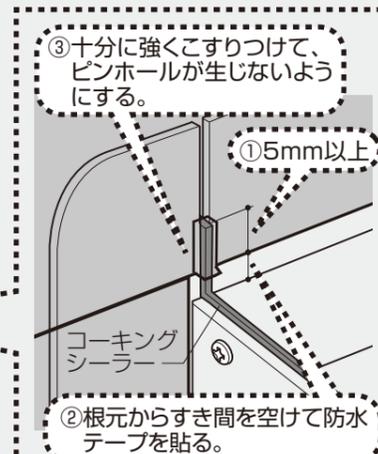
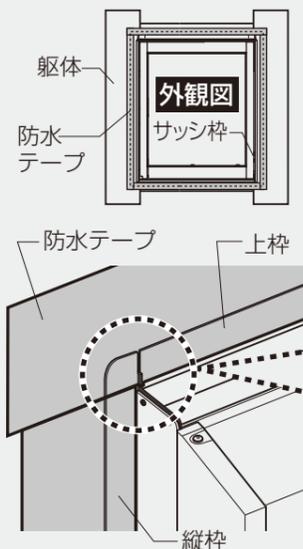
お願い

※ アルミフィンから調整材がはみ出さないように注意してください。



▲ 注意

- 漏水防止のため、下記事項をお守りください。
- ・ 枠の水平・垂直を正確に出して取付けてください。
- ・ 本製品取付け後、枠と躯体の取合せ部に下記①～③に従って、防水テープ(別売り)を張ってください。
- ① コーキングシーラーに5mm以上重ねる。
- ② 根元からすき間を空ける。
- ③ ピンホールを生じさせないように必ず圧着する。



③ 十分に強くこすりつけて、ピンホールが生じないようにする。

① 5mm以上

② 根元からすき間を空けて防水テープを貼る。

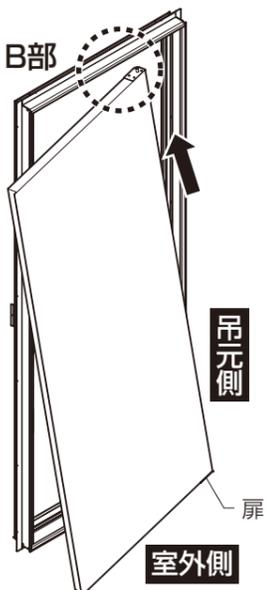
3 本体の吊込み

- ① 扉を斜めに持ち上げ、扉の上部にあるピボットヒンジ上部軸を上枠の切欠き部の端に差込みます。

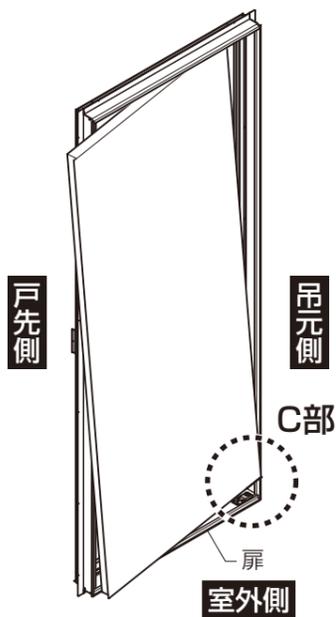
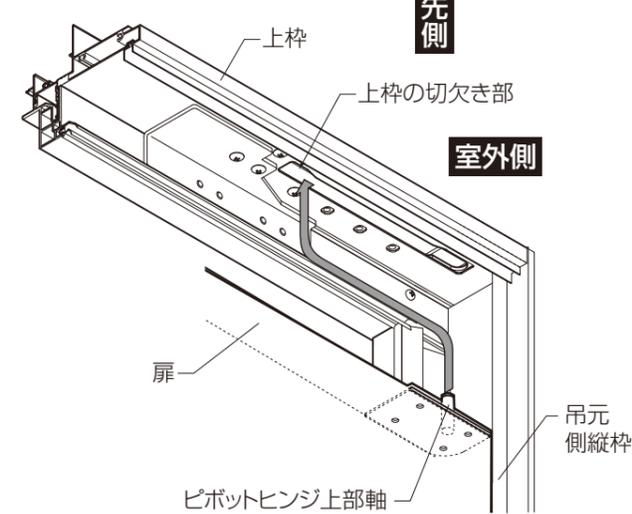
- ② ①の状態ですべての扉をピボットヒンジ下部軸に差込みます。

お願い

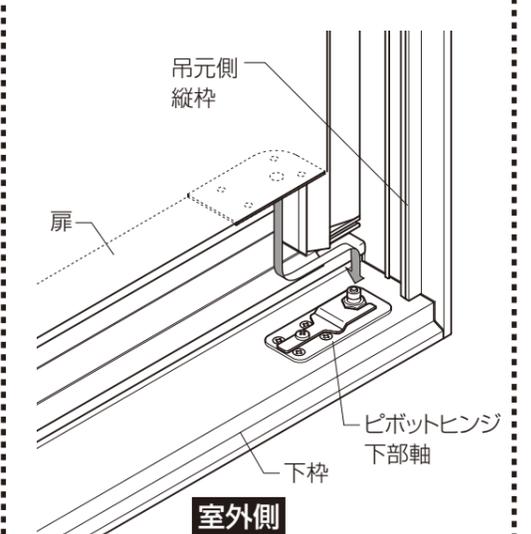
※ はじめにピボットヒンジ上部軸を差込んでください。下部軸を先に差込むと吊込みできません。



■ B部詳細図

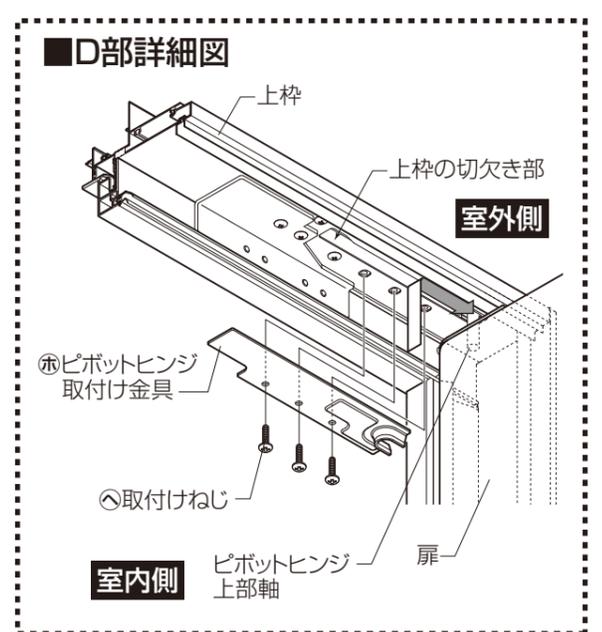
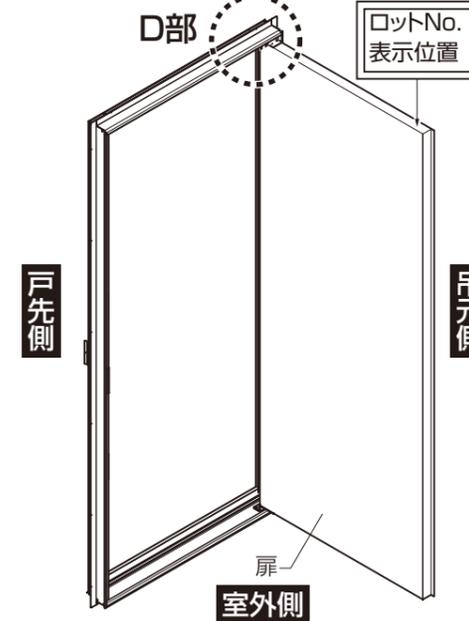
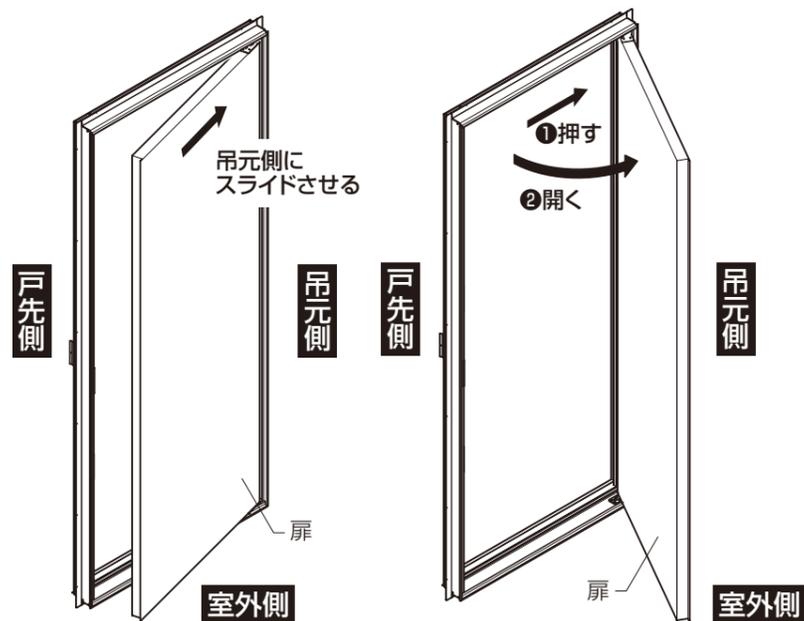


■ C部詳細図

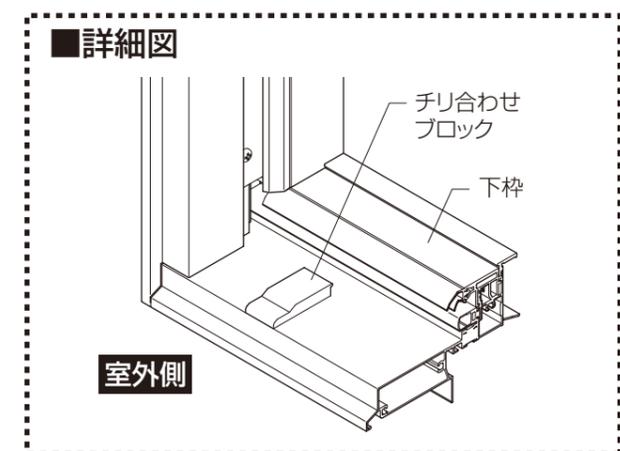


③扉の上部を吊元方向にスライドさせた後、押しながら扉を開くと正規の位置になります。

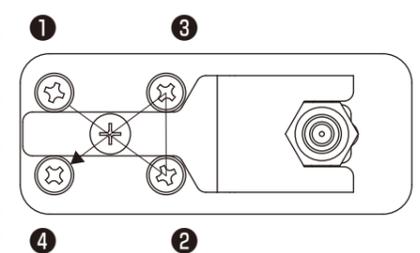
④⊕ピボットヒンジ取付け金具を、扉のピボットヒンジ上部軸に差込み、⊙取付けねじで固定します。
※必ず手回しドライバーをご使用ください。



⑤下枠に両面テープで張ってあるチリ合わせブロックを外します。



お願い
※下枠のピボットヒンジ取付けねじは仮止めの状態ですので、建付け調整をしない際は、 $3.0 \pm 0.5 \text{ N}\cdot\text{m}$ { $30 \pm 5 \text{ kgf}\cdot\text{cm}$ }のトルクで対角順に締め付けてください。締め付けないと開閉不良など不具合が生じることがあります。

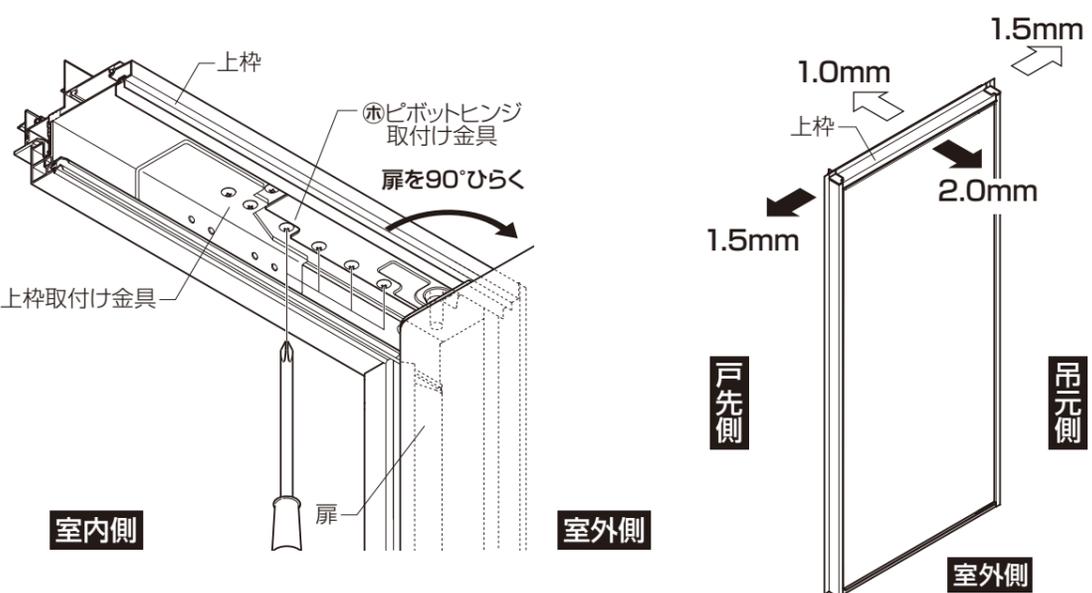


お願い
※取付け完了後は必ずチリ合わせブロックを取外してください。(ドアの開閉に支障がでます。)

■建付け調整

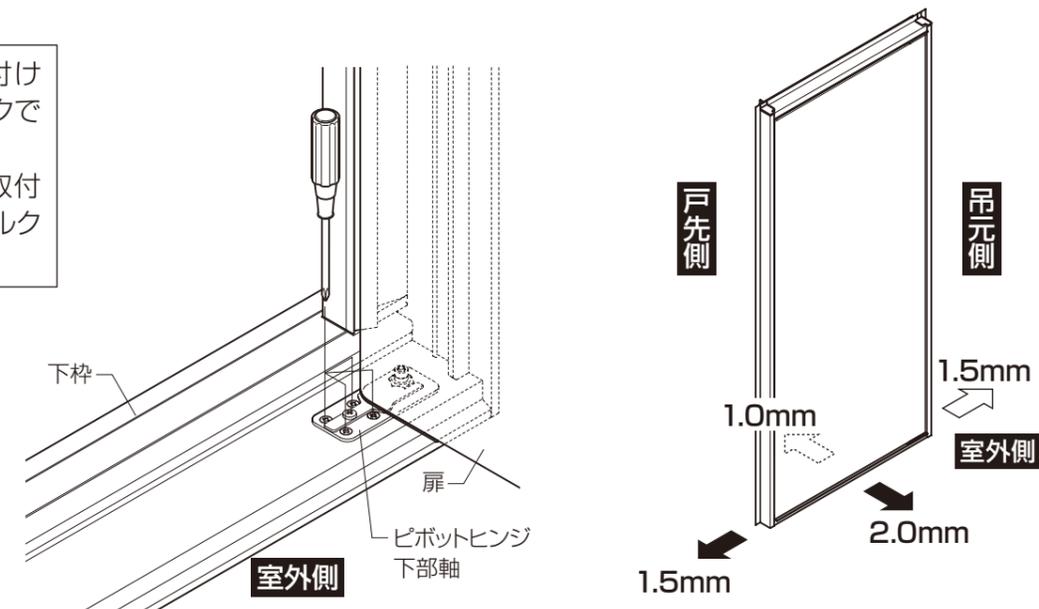
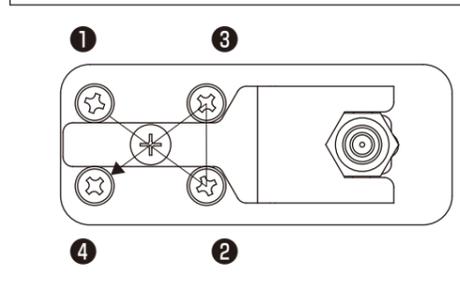
■左右方向のすき間の調整

- ①扉を90°開きます。
 - ②⊕ピボットヒンジ取付け金具のねじ4本をゆるめます。
 - ③室外側方向に2.0mm、室内側方向に1.0mm、戸先側方向に1.5mm、吊元側方向に1.5mm動きますので、位置が決まったらねじを締め直してください。
 - ④ピボットヒンジ下部軸のねじ4本をゆるめます。
 - ⑤室外側方向に2.0mm、室内側方向に1.0mm、戸先側方向に1.5mm、吊元側方向に1.5mm動きますので、位置が決まったらねじを締め直してください。
- ※必ず手回しドライバーをご使用ください。



建付け調整時の注意事項

下枠のピボットヒンジを調整した際、取付けねじは $3.0 \pm 0.5 \text{ N}\cdot\text{m}$ { $30 \pm 5 \text{ kgf}\cdot\text{cm}$ }のトルクで対角順に締め付けてください。
下枠のピボットヒンジを調整しない際も、取付けねじは $3.0 \pm 0.5 \text{ N}\cdot\text{m}$ { $30 \pm 5 \text{ kgf}\cdot\text{cm}$ }のトルクで対角順に締め付けてください。

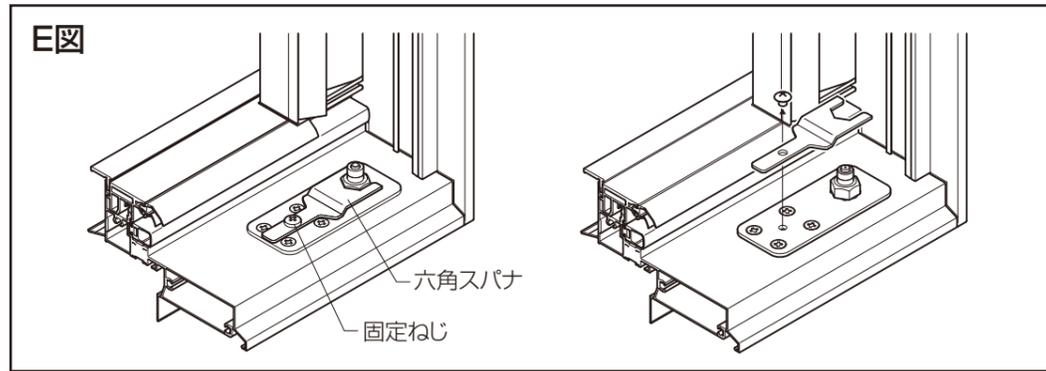
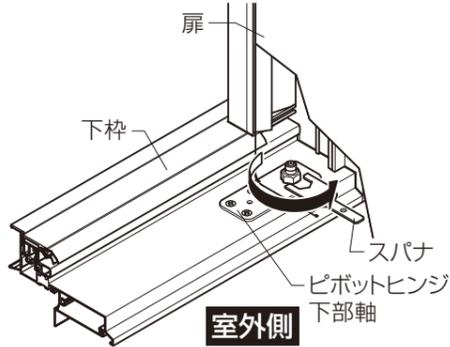


■上下方向のすき間の調整

- ピボットヒンジ下部軸に取付けされている六角スパナでピボットヒンジ下部軸のナットを右に回すことで上に最大3mmまで動かします。六角スパナの固定ねじを外して使用してください。(E図)
- 調整が終わったら、六角スパナを固定ねじで元のとおりに戻してください。

お願い

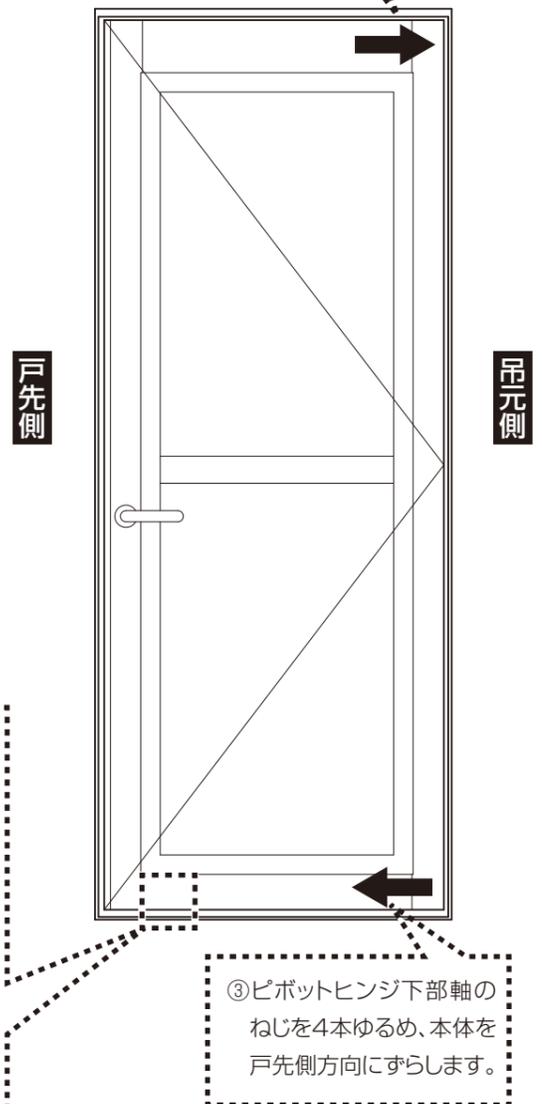
- ※スパナは必ず元どおりに戻してください。ナットが回転して開閉不良など不具合が生じることがあります。
- ※スパナをたたきなど、締め付けすぎないようにしてください。部品が破損し、開閉に支障が出ることがあります。



■本体の戸先下がりが起きた場合の調整

- ①ピボットヒンジ下部軸にて上下方向の調整を行なってください。
- 【①にて解決しない場合】
②上部ピボットヒンジ取付金具のねじ4本をゆるめ、吊元側方向に本体をずらしてください。(※下図参照)
- 【①②にて解決しない場合】
③ピボットヒンジ下部軸のねじを4本ゆるめ、本体を戸先側方向にずらしてください。(※下図参照)

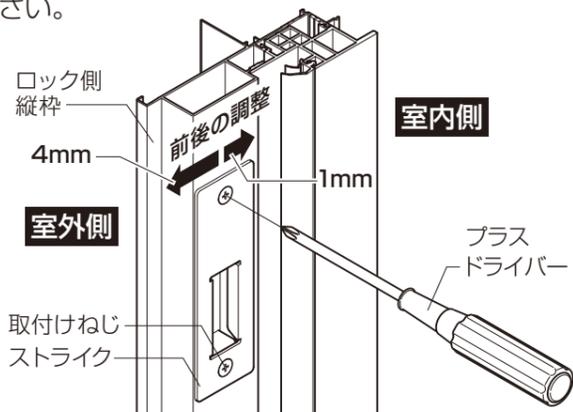
②上部ピボットヒンジ取付金具のねじ4本をゆるめ、吊元側方向に本体をずらします。



③ピボットヒンジ下部軸のねじを4本ゆるめ、本体を戸先側方向にずらします。

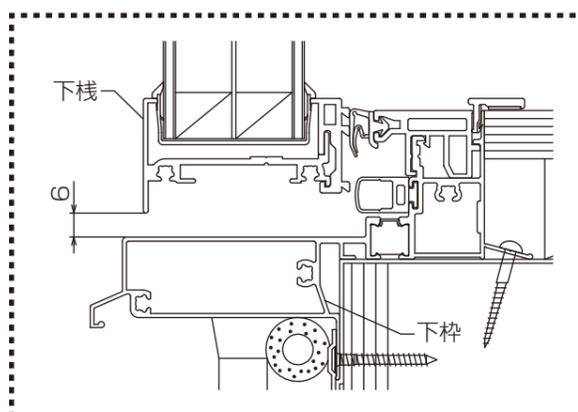
■ストライク調整

- ラッチがかからない場合は、以下の手順で調整してください。
- ①ストライクの取付けねじ2本をゆるめます。
- ②室外側方向に4mm、室内側方向に1mm動きますので、位置が決まったらねじを締め直してください。



■本体戸先下がりチェック

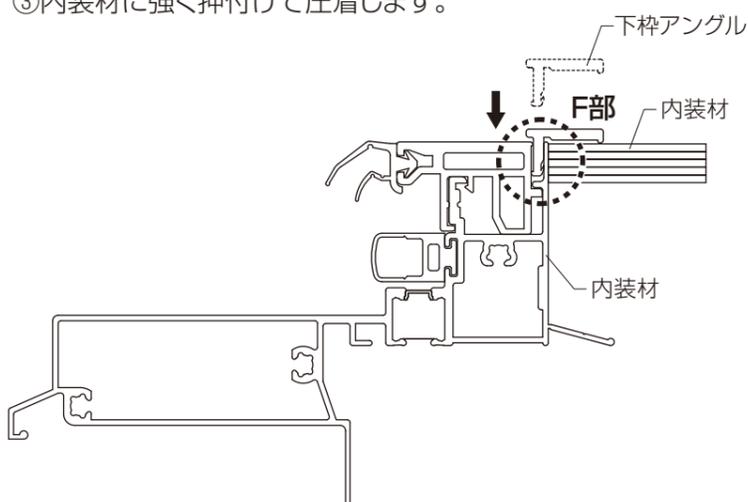
- 本体下枠と下枠の隙間寸法を採寸してください。
- ・目安寸法 6mm
- 上記寸法が確保出来ていない場合は調整を行い、寸法の確保をお願いします。



■下枠アングルの取付け

■下枠アングルの取付け

- ※204単純段差納まりの場合は、「204下枠アタッチメント」同梱の取付け説明書をご覧ください。
- ※下枠アングルは、内装材施工後に取付けてください。
- ※下枠アングルの床の高さ違いの対応範囲は、上に3mm、下に1mmです。それ以上は対応できません。なお、上方向に調整時は縦枠アングルの下部が内装材に干渉しますので、必要に応じて干渉部を切欠いてください。また、高さ調整機能はあくまで補助的な機能ですので、床の高さは確実に出してください。
- 下枠アングルがねじレスの場合
 - ①下枠アングル取付け部を必ず清掃し、汚れ(泥・砂)・ホコリ・油などを取ってください。
 - ※取付け部に汚れ(泥・砂)・ホコリ・油などが付着していると、両面テープの接着力が低下し、はずれの原因になるおそれがあります。
 - ②リケイ紙をはがし、下枠アングル端部を縦枠アングルに合わせ、下枠溝部にはめ込みます。
 - ※張直しをしないでください。接着力が低下し、はずれの原因になるおそれがあります。
 - ③内装材に強く押付けて圧着します。



■F部詳細図

